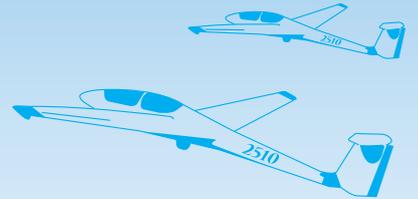


ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009

11



CONTENTS

- ガバナーレター☒…………… 1
- ロータリー財団月間にあたり☒…………… 2～4
- 地区ロータリー財団国際親善奨学生について☒…………… 5
- 地区財団学友の活動☒…………… 6
- ロータリー財団GSE活動について☒…………… 7
- 新しい地区補助金について☒…………… 8
- 識字率向上(貧困の連鎖を断ち切る)☒…………… 9
- 地区大会スナップ☒…………… 10
- 創立35周年を迎えて☒…………… 11
- ガバナー公式訪問☒…………… 12～15
- モントリオール国際大会のご案内☒…………… 16～17
- 例会日・例会時間・例会場の変更等について「兵庫県西北部豪雨災害」と「台湾台風災害」義援金報告新入会員の紹介…………… 18
- ガバナー・ノミニ候補者推薦のお願い
インターアクトクラブ活動
文庫通信☒…………… 19
- ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます
米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます
ポール・ハリス・フェローメダル購入方法について…………… 20
- 地区カレンダー(11月・12月)☒…………… 21
- 出席率・会員数☒…………… 22

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊 恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ～The Future of Rotary is in Your Hands～



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



地区大会を終えて

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

2009～2010年度RI第2510地区地区大会が記念囲碁大会、ゴルフ大会を経て、10月3日～4日に1,480人が参集して、道央の地方都市滝川市で開催された。

地区大会は、地区内会員が一年に一度集まり討議や協議、提案をする総会であり、感銘を与える講演を聞いたり、セミナーに参加し学習をする場でもあり、出合いや友愛を高め交流をするお祭りであります。それには、会員が参加しやすい場所、日時、一同が会せる会場、周到な準備とプログラム、当日の無駄の少ない運営が必要になります。

この度の地方の小都市滝川市は、幹線はともかく閉会時間を早めに切り上げなければ最終列車に間に合わないなどの交通の便も悪く、会場が狭隘、施設の不自由さ、宿泊者を受け入れる容量の少なさ、地区大会主管の経験がないことなどで、最初から難題を持つ厳しい条件の中での滝川クラブ主管であった。それらを認識した上で、地区大会実行委員長や大会幹事、滝川クラブ会長は、滝川クラブ会員の全員野球をと、また第2グループ芦別、赤平、砂川の応援を頂き、手作りで知恵と工夫による「真心のおもてなし」をコンセプトに掲げて実践した。

更にととても幸いなことに、RI会長代理が国内のPastガバナーであり、更に滝川出身と言うこともあって、ご出向がご決定されて以来、田口良一RI会長代理、絢子令夫人歓迎への高まりが日ごとに強くなって、当日を迎えたのである。

それにお応え頂いた会長代理は、積極的に地区や地域の情報を事前に充分ご収集されてご来道、全ての地区大会プログラムには勿論、キッズキャンプの現地にも足を運ばれ、永年に亘るロータリー歴と、輝かしいロータリーでのお立場からのご体験は、深い知識、高い見識となってご指導を頂き、加えて包み込む温かい人間性は参加会員を魅了し、地区大会を感動的に且つ地区の熱い想いをご自身でドキュメンタリクに幕を降ろして下さったのである。

地区大会はロータリー会員にとって、ロータリーを高める最も有効な機会である。クラブを超えて友人を作り、ロータリーを知り、歓びを分かち合い、発展させるステージであることを確信する。その意味で地区大会を主管した滝川クラブの全員野球と真心に、改めてこの紙面から敬意と感謝を表したい。

何もしなければ感動は生まれない。感動は心と汗による成果から生まれるのだと、この地区大会から再び学んだ。



ロータリー財団月間にあたり

ロータリー財団について 考えてみよう

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

Hideharu Iwaki
(札幌南RC・PG)

ロータリー財団は、ロータリーの国際的な人道的奉仕を動かすエンジンの役割を担っています。ロータリー財団がなければ、ロータリーのプログラムの存在はなかったでしょう。

それは人道的補助金、国際親善奨学金、GSEもなかったと思われま

す。今年のRI第2510地区として、次のような目標を示しております。

1. 活動方針として

財団の認識を高め、世の善行を行うことが、1917年にアーチ・クラフが財団への基金を創設した基本理念によりその目標を達成しよう。

2. 活動計画としては

- ① 財団へ個人100ドルと、クラブ1,000ドルを寄付する。
- ② 恒久基金、使途指定、大口寄付、ポール・ハリス・ソサエティーへの協力と推進。
- ③ 各種プログラムを積極的に推進する。
- ④ 各小委員会のプログラムを推進する。
- ⑤ 2009-2010年度の年次寄付目標を30万ドルとする。
- ⑥ 財団の未来の夢計画を理解し、新制度への移行期の補助金の理解を今年度中に会員に浸透させる。

昨年は、ロータリーカードの目標数を達成致しましたが、今年はRIからカードを使用するように推奨されております。

プログラムの活動は、そのIとして、教育プログラムです。

(1) 国際親善奨学金

男女を他国の教育機関で勉学させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することにあります。

地区では奨学生の選考とともに、留学に出発するまでのサポートを行っております。

地区からは09-10年度奨学生を6月頃に壮行会を開いて激励をしております。

当地区からは毎年6名の奨学生を送り出しております。

2010年-2011年度よりは、1学年度の1種類となりました。

(2) 研究グループ交換(GSE)

25歳から40歳までのチーム・メンバー4人とロータリアンのチーム・リーダーが、GSEチームを構成し、2ヶ国がGSEチームを交換し、互いの国の文化の違い等について学ぶもので、07-08年度では、RI3300のマレーシア・クアラルンプールとの交換でありました。08-09年度はありませんでしたが、2009-2010年においては、2010年4月に当地区とRI2360地区(スウェーデン)との交換の請約ができておりまして、チーム・リーダーは、札幌東クラブの奥貫一之氏が就任されております。

チームのメンバー4名はすでに決定しております。

今後の予定としては、受入れ(スウェーデンのメンバー)は、2010年4月2日(金)に到着となっております。当地区の派遣メンバーは、5月1日頃に出発予定となっております。なお、2012-13年度はGSEプログラムは最終年度となります。

(3) 財団学友(FA)

世界中で、緒方貞子氏を始め多数の優秀な学友が活躍しています。

当地区では、留学した元財団親善奨学生と元GSE団員の派遣体験を報告し、帰国後の活動について発表する会を実施しております。

(4) ロータリー平和および紛争解決研究プログラム(RPCS)

06年7月1日より始まった3年間の試験的プログラムですが、タイ、バンコクのチュラロンコーン大学で3ヶ月間紛争解決について学ぶもので、3年間の試験的期間は2009年4月に終了した。

2009-10年度にチュラロンコーン大学の短期の平和研究プログラムは、ロータリー・センタープロ



グラムに統合されました。

そのⅡとして、人道的プログラムです。

(1) 保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金

国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として

- ① 健康状態を改善する。
- ② 飢餓を救済。
- ③ 人間的社会的発展を図る。

(2) 地区補助金(DSG)

2000年4月にCAPが出来ましたが、2003年7月に地区補助金となりました。

地区補助金は特に人道的プログラムにのみ使うことにし、2008年-09年からは文化的活動には使用できなくなりました。

(1) 奉仕活動や寄贈品は、地域でかなえられていないニーズを満足しているでしょうか。

(2) プロジェクトは、恵まれない人々の役に立っているでしょうか。

(3) 地区補助金がなければ、このニーズを満たすことができたでしょうか。

- ① 高等教育活動、研究、自己開発または専門能力強化クラブがセミナーを主催する場合には、参加できるのは、高校生、小学生などで、災害等に見舞われた中学生、高校生などの授業料等の支払いに補助金を使いたい。
- ② 募金活動は、チャリティー・コンサートを主催して収益を地域社会のニーズに直接役立つような奉仕活動や寄贈品の購入に使う場合。
- ③ 地区大会または創立記念日などのロータリーの行事に関連する費用とし、周年行事として事業を計画した場合の費用。
- ④ 人道的な側面をもたない娯楽費、接待、1人暮らしの高齢者を食事に招く費用。

(3) ボランティア奉仕活動補助金(V.S.G)

05年7月1日より、個人向け補助金は一時停止され、06年7月1日より復活し、今の名称に改められました。

この奉仕活動は、医療、歯科、地域開発、教育、給水、医療品や設備等で、プロジェクトの現場となった国は、ケニア、インド、ウガンダ、グアテマラ、メキシコといった開発途上国です。

支出項目は、① 旅費、最小限の生活費、その他の費用。

② 期間は5日間から60日間。

(4) マッチング・グラント(MG)

地区によっては、世界社会奉仕(WCS)として、ある国のロータリークラブが人道的プロジェクトを実施しようとしたが、資金や専門知識が不足している場合、海外に援助を求めてきます。または、他の国のために尽したいと思っているロータリークラブや地区が貢献できる場を探します。この場合、援助をするのが世界社会奉仕であり、そのプロジェクトの補助金を申請しますと、ロータリー財団のプログラム、マッチング・グラントになります。2ヶ国以上のロータリークラブが協力し合い、それを補うことがマッチング・グラントです。

(5) ポリオ・プラス・プログラム

ロータリーは、1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。RIの75周年基金から補助金が授与された。

ポリオと共に、ハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としているため、ポリオ・プラスと呼んでいます。

1クラブ1,000ドルを「1億ドルのチャレンジ」に、3年寄付すれば1億ドルの目標を達成できます。地区のDDF残高の20%以上を寄贈した地区には、RI会長他の感謝状が贈られます。

そのⅢとして、未来の夢計画に基づく新補助金

新補助金制度は、RI理事会の2008年6月の会合で、ロータリー財団の未来の夢計画を承認され、100地区を除く地区は既存のプログラムをそのまま利用し、2013年-14年度から新補助金に移行します。

(1) 補助金は2種類となります。

① ロータリー財団新地区補助金

② ロータリー財団グローバル補助金

・パッケージ・グラント 2009年10月の管理委員会で決定する。

・クラブ及び地区計画補助金

この事項については、今後の研修項目により明らかになります。



ロータリー財団への寄付

A 寄付の種類

1. 年次寄付

ロータリー財団には二つの寄付方法があり、その一つです。年次寄付は、財団プログラムを継続させるための燃料の役割を果たしています。毎年、クラブと地区は年次寄付の目標額を設定しています。「年次」というのは毎年続けられ、3年後にはプログラムに使われます。2001年規定審議会で、05年までに毎年1人当たりの寄付を100ドルにする決議が採択されました。

2. 恒久基金

目標は25年までに10億ドルにすることです。恒久基金は金額を問わず、いくらでも寄付することができます。1,000ドルの寄付者はベネファクターとして、バッジを受け取ることができます。

3. 冠名奨学金

個人、団体が1学年間の留学費用全額を寄付することによって、自己の氏名を冠した奨学金を寄付することができます。

4. 冠名奨学金基金

15万ドル以上の寄付によって、冠名奨学金基金の設立ができ、その元金の収益金が1学年度間の留学費用に達したとき、1件の冠名奨学金が授与されます。

B 寄付の増進

1. 大口寄付者

寄付の種類を問わず、年次寄付、使途指定寄付、恒久基金寄付の合計で、10,000ドル以上寄付した人を大口寄付者といいます。

大口寄付者は、09年7月末現在、日本では939人です。

2. ポール・ハリス・ソサエティー

毎年1,000ドルの年次寄付、使途指定寄付をする人を認証するプログラムで、2009年7月現在、日本では275名のメンバーがいます。

3. アーチ・クランフ・ソサエティー

寄付累計が25万ドルを超えますとメンバーとなり、メンバーの写真が世界本部内のアーチ・クランフ・ギャラリーに飾られます。日本では13名です。

4. ロータリー・カード

07年9月末には5,000人が保有者です。購入額の0.3%のロイヤリティーが日本事務局に振り込まれます。

C 税制上の優遇措置

日本では03年10月より、「特定寄附金制度」を通して、毎年のお申し込みを行っております。ただし、教育的プログラムで一括20万円以上の寄附です。

手続きは「税制上の優遇措置扱い分申込書」に記入し、日本事務局財団室に送ります。

その上で、寄付金を日本事務局財団室の「日本ロータリー奨学金委員会口座」に送金します。

国際ロータリー日本事務局財団室では、6月と12月の年2回分を取りまとめ、国際交流基金特定寄付金取扱規定に送金します。2009年の所得に対する税制上の優遇措置を受けることを希望する方は、12月10日までに振り込むようお願いいたします。

もう一つには、特定非営利活動法人ロータリー日本財団

02年10月のロータリー財団管理委員会は、特定非営利活動法人ロータリー日本財団の設立を承認しました。03年4月に(特活)ロータリー財団を登記しましたが08年9月10日をもって解散しました。

新公益法人関連3法が08年12月1日に施行されたのに伴い、2009年6月に一般財団法人ロータリー日本財団を登記し、公益認定の申請は早急に行う予定です。

以上、財団月間にあたりまして、大変現実的な理論構成でご説明を申しあげましたが、やはり、100年前にロータリーの原点であるポール・ハリスの考え方に賛同した者と致しましては、「人類が私たちの仕事」であり、「夢をかたちに」でありましょう。

その目的を達成するために、更なるご精進致しますことをご期待とお願いを申し上げます。



地区ロータリー財団 国際親善奨学生について

地区国際親善奨学金委員会

委員長 菅原 秀二

Shuji Sugawara
(札幌大通公園RC)

当地区における国際親善奨学金には、文化研修と呼ばれる3ヵ月または6ヵ月の集中語学研修プログラムと、1学年度またはマルチ・イヤー奨学金という1学年または2年間の主として大学院での勉学を助成するためのプログラムがありました。しかし、2010-11年度からは、1年前倒しでマルチ・イヤー奨学金と文化研修プログラムが廃止され、1学年度の奨学金1種類になりました。新補助金のもとで、新しい奨学金制度が発足するまで、しばらく1学年度の奨学金のみを募集することとなります。

さて、2009-10年度の奨学生6名のうち、すでに数名の奨学生は出発し現地で活動をしています。写真は本年7月4日に開催された壮行会のときの写真です。メンバーは次のとおりです。櫛引友美子(6ヵ月、オーストラリアかカナダ、札幌はまなすRC)、田中栄子(6ヵ月、アメリカ、札幌幌南RC)、西出佳代(1学年度、ルクセンブルク、札幌北RC)、三浦順子(1学年度、アメリカ、札幌大通公園RC)、芳住啓輔(マルチ・イヤー、オーストラリア、札幌東RC)、田中慎吾(マルチ・イヤー、室蘭北RC)。奨学生の壮行会は本年7月4日に盛大に行なわれ、多くのロータリアンの方や学友会から、出発にあたっての激励の言葉をいただきました。

2010-11年度の奨学生は、先に述べたようにすべて1学年度の奨学生として6名決定しており、すでに2回のオリエンテーションを受け、申請書類は財団本部に提出済みです。

下の写真は、壮行会と同日に開催された第1回のオリエンテーションのときのものです。6名の候補者は次のとおりです。泰地裕子(ドイツ、札幌手稲RC)、長屋さくら(フランス、札幌北RC)、加藤綾(ドイツ、北広島RC)、田村理(イギリス、札幌大通公園RC)、磯尾けい子(アメリカ、札幌東RC)、松本圭介(小樽RC)。特に文化研修から1学年度に変更し、選考された方はいきなり大学院あるいは大学への進学となり、入学手続きの面で苦労しています。スポンサークラブのカウンセラーの方には、例年以上のご支援をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、2011-12年度の奨学生に関しましては、募集要項やポスターを年明けの1月に配布、2010年の2月頃から募集を開始いたします。応募に際しましてはクラブの推薦が必要ですので、応募があった場合には、面接などのご対応をお願いいたします。





地区財団学友の活動

地区財団学友委員会

委員長 齊藤博司

Hiroshi Saitoh
(千歳セントラルRC)

2510地区での当委員会は、国際親善奨学金委員会とGSE委員会の選考で派遣されて帰国したOG・OBで組織する財団学友会を広くロータリアンに浸透・啓蒙を推進し、かつOG・OBのロータリー会員として活動していただくように導くことを積極的にやっております。

この学友会は、国際的な組織として各国で活躍しております。

(2008年のロサンゼルス国際大会ではロータリー財団学友世界大会を開きました)

ロータリアンの寄付金による留学ですから、帰国してから推薦RCへのReport、他クラブでの卓話、そして海外での見聞及び自身の学びでの成果を社会に還元していただかなければなりません。

啓蒙としての事業は、年1回以上の帰国報告会があります。これは、ガバナーをはじめガバナー補佐、各担当委員会メンバー、そして推薦RCの会長を筆頭にロータリアン、学友会関係者などで外国語が飛び交う中で行われます。留学前の初々しい姿の中にも緊張がみなぎっていた奨学生も、帰国してからの堂々としたものごし、態度「あぁー留学したらこんなになるんだ！」と楽しくなります。

もう1つは、地区大会でのブースの設置。このブースでは歴代の推薦RC・留学生名・派遣国などを掲示し、その国での親善ぶりがメンバーに詳しく説明できるようにします。また、ブースでは「学友会とは何ぞや！」を理解してもらいたく工夫をこらしております。

次に財団学友会(帰国留学生組織)と財団学友委員会(ロータリアン)で共有できる学友会メンバーの名簿作りの更新をしております。地区内各RCの推薦ではありますが、道外に在住されておられるOG・OBも多数おられ、把握に懸命になっております。

この名簿は卓話派遣のスムーズな進行、誰がどの地域に、何を目的に、何年留学され、現在は何の様に社会で活躍されているかを把握するものです。

そして、学友出身のロータリアンを多数輩出できるきっかけにし、ひいては留学生を中心にしてのRCの設立までも考えております。

最後に、学友会のホームページの立ち上げを検討しております。いつ・どこでどの様な事業を行うとか、各々地域に散っているOG・OB達への連絡や2510地区におけるロータリー関係の行事開催のお知らせなど。学友会と疎遠になっている学友への積極的な参加へのお誘いなどに利用していきたいと思っております。



ロータリー財団GSE活動について

地区GSE委員会

委員長 沼 舘 栞

Shiori Numadate
(札幌清田RC)

GSEは、ロータリー財団の代表的な教育的プログラムです。このプログラムは、地区内の若い職業人を海外に派遣し、そこでの生活体験を通じて職業、文化、親善などの様々な分野での国際理解を促すとともに、得られた体験を広く地域社会に還元できるよう支援するものです。

訪問地区の組織的なプログラムに職業人として参加し、各団員の専門に応じて意見を交換しながら、他国における職業の実践状況を視察します。

訪問地区では地域住民との交流や文化施設の見学を通じて生活様式、国民性などを学び、地域について理解を深めます。派遣団員と受入地区のロータリアンが友好と善意のもとに意見を交わし、また受入家族と生活をともにしながら互いの問題や将来について語り合い、永続的な友情と相互理解を深めるようにします。これらの有意義な異文化体験は最終的に派遣と受入の両地区社会に広く貢献することになります。

1971年以来、米国、カナダ、オーストラリア、フィリピン、タイ、マレーシアと計14回実施してきました。今年度はヨーロッパ地区における最初のプログラムとしてスウェーデン南西部RI2360地区との交流を行ないます。同地区はスウェーデン第二の都市イエーテイボリを中心とした地区で、今回、2510地区では初めての“特別重点的GSE”(特定の職業人ばかりを集めてのプログラム)を実施します。今回は社会福祉・介護に関する職業(障害者支援・高齢者支援)の方々を選び、福祉先進国のスウェーデンで視察・研修を5週間に渡り体験して頂きますが、4名のメンバーは決まっております。毎月研修を受けております。チームリーダーは奥貫一之会員(札幌東RC)に決定済みです。奥貫会員は北海道リハビリの理事長をされており、今回の福祉介護の特別重点的GSEチームのリーダーには最適の方です。派遣期間は2010年5月1日から5月30日。またスウェーデンからの受入は4月1日から5月1日の予定です。尚、RI2360地区からの受入チームは不特定の職業の方々となります。

今期スウェーデン2360地区との交換プログラムに当たり、地区内の皆様の御協力を頂き、交換プログラムの準備も着々と進んでおります。ご協力のほど心より感謝申し上げます。



スウェーデン大使、北大留学生ジェシカ(スウェーデン出身)とメンバー



スウェーデンの国、宗教、ノーベル賞について勉強中。



ジェシカご夫妻お別れ会



新しい地区補助金について

地区補助金委員会

委員長 須田 義雄

Yoshio Suda
(札幌南RC)

2003年7月1日から地区補助金がスタートしました。ロータリー財団に3年前に寄付した金額の50%が地区財団活動資金(DDF)として戻され、その内約20%が地区補助金として使える事になりました。

年々条件が厳しくなり以前文化的活動にも支出されていたのが、2008-09年度から使う事が出来なくなりました。2009-10年度は申請方法が変わり、地区がロータリー財団に提出する地区補助金授与計画に名前の無いクラブは補助金を受けられない事になりました。

あらかじめプロジェクトの概要についてその意思があるかどうか、また、補助金で購入する品目を具体的に記入して、ガバナー事務所に提出する事が必須となりました。人道的かつ会員が自らその企画に参画するのがポイントで、緊急を要しない場合は却下される可能性があります。2510地区の補助金授与計画を本部に報告し、その内容についてあらかじめ適応が無い場合は申請は無理との伝達を受けました。そのことを73クラブに通知いたしました。

7月までに予備申請書が提出されたのは17クラブでその各々に関して報告と指導をさせていただきました。

交通安全運動、植樹、小鳥の巣箱作成、公園のプランター設置、車いす、AED(心除細動器)などの寄贈、子供達への学習支援、スポーツ観戦、絵画展示会、WCSに伴う手作りカメラ・望遠鏡などの試作、キッズアドベンチャー防災キャンプの実施、環境看板の設置などであります。少年野球大会・サッカー大会の実施、創業記念事業に付随するものは駄目になりました。障害を持った人達のためのスポーツ観戦の移動のバス代・チケット代など、認めるが各種展示会のコンテストは認められません。ただ、広く絵画を募集するのは承認可能であり、防災キャンプについては、キャンプに係る費用は認められませんが、募集する広告費、AEDなどの実習のために材料を借りる費用は認められます。植樹については、公共的な場所で行う事が条件で、苗と培養土は承認されます。

9月現在8件の正式な補助金申請書が届いています。今回初めて地区大会を利用して、補助金委員会を開催しました。現場での審査状況をオープンで開示する事も検討しています。

昨年4月の地区協議会で、申請は特に面倒ではなく人道的活動且つ地域のニーズに応えるものであれば、各クラブの社会奉仕委員会を中心に、地域と密着したプランを立てその一部を補助金として支給することを説明したのですが、申請件数は最終的には11件の申請に留まりました。

この申請件数の少ないのは周知徹底が行われてなかった事が起因すると考え、今年4月の地区協議会では、毎年補助金が余り本部に返金してきたので、申請して頂くようお願いいたしました。ぜひ小さなクラブでもロータリー財団の寄付金額に関係なく申請し、地域にロータリーの活動を知らせるチャンスを生かして頂ければと思います。



識字率向上（貧困の連鎖を断ち切る）

国際ロータリー識字率向上支援グループ

第1ゾーン・コーディネーター **塚原 房樹**

Fusaki Tsukahara
(札幌東RC・PG)

9月16日、大阪で第1、第2、第3ゾーンのRI識字率コーディネーターによる識字率向上セミナーが開催されました。黒田RI理事、重田元RI理事をはじめ各地区のコーディネーターが参加され当地区からは矢橋直前ガバナーが出席されました。

現在世界では10億人、つまり世界人口の6分の1の人々が文字を読むことが出来ないと推定されています。「読み書き」ができないということは、貧困をはじめとする諸悪の根源であり地球規模の問題です。読み書き能力不能者の悲劇は、悪質なごまかしにあい極度の貧困生活を強いられ、人間としての「尊厳」を喪失することです。それはまた経済的、政治的、社会的、個人的な発展の障害であり、その結果国際間の理解、協力を欠き世界平和をはばむ障害物になります。しかし日本では「読み書き」のできない人は稀で、この問題は実感がなく、いま一つ関心が薄く対岸の火事のような観さえあります。我々は文字文化から隔絶され、社会から置き去りにされた悲惨な人々に、今手を差し伸べなければ途上国の社会不安は一層増大するでしょう。国連は非識字を経済、政治、社会開発における最も重大な障害の一つと断定しました。

RIにとっても識字率の向上はポリオの後を継ぐ重要なプログラムです。この問題の唯一の解決策は我々が率先して、すべての人たちへ識字教育を適切に実施することです。日本のロータリー・クラブの多くが低開発地区の「読み書き」の訓練に必要なツールを支援しております。人道的プロジェクト(ハードの面)では「読み書き」教育用の書籍を提供したり、「読書と言葉教室」を作って後援したり、ボランティアの教師を世話したりしています。

ロータリアンの使命はこのように発展途上国の識字率向上のために、いろいろな機会を通じて識字プロジェクトを促進させることです。言い換えるならば、地球という相互依存のタペストリーの中で暮らしている我々は識字率向上を推進するために「他人の問題」として片付けない、傍観者でいてはならないからです。教育的プロジェクト(ソフト面)としては、1997年度のグレン・キンロスRI会長は世界中の多数の非識字者を減少させるため語学教育としてCLE(語学集中講座)を用いたライトハウス識字率向上プロジェクトを導入し識字率向上に著しい効果を上げています。なおこれらの詳細についてはRIのウェブサイトを開いて、検索するとさまざまなパンフレット、プロジェクトの例、連絡先など豊富な情報を見つかけられます。100年に一度という大不況のさなかにいる我々ですが、だからと言って一日1\$未満で生活している最貧困にあえぐ人たちを見過ごすことはできません。

なにとぞ識字率向上プロジェクトの重要性をご理解いただき、RIの識字率向上運動にご協力くださるようお願い申し上げます。

10月3日(土)～4日(日) RI第2510地区 地区大会スナップ(滝川市にて)



記念囲碁大会(9月20日)



記念ゴルフ大会(10月2日)



ゴルフ大会表彰式



RI会長代理歓迎晩餐会(10月3日)



田口RI会長代理とお孫さん



本会議 田口RI会長代理挨拶(10月4日)



渡邊ガバナー挨拶



記念講演会 倉本聡氏



記念懇親会(10月4日)



手に手つないで



創立35周年を迎えて

札幌南ローターアクトクラブ

創立35周年実行委員長 **川下 和光**

Kazuteru Kawashita

札幌南ローターアクトクラブ創立35周年記念式典に提唱ロータークラブをはじめ区内から多数のロータリアン・ローターアクターのご登録・ご参加いただき誠にありがとうございました。

さて、私たち札幌南ローターアクトクラブは、1974年12月11日に札幌南RCの提唱をうけて札幌大学ローターアクトとして発会いたしました。

発会当初は学生ベースとして22年間活動を続けていましたが会員の減少やローターアクトクラブとしての活動ができておらず、1996年から札幌南ローターアクトクラブへ名称を変更しこの年度から社会人ベースへの変更を行い会員の増強・活動の活発化を図りました。

これにより、会員増強・活動の活発化につながり、区内への貢献も高くなりました。現在では、札幌南RCの熱いご厚意により会員増となっております。(男性9名、女性12名、計21名・区内最多人数)

クラブの主な活動は、札幌この実会第2この実会、児童施設天使の園などとの交流、イベントのお手伝いを行っております。札幌この実会第2この実会、知的障害者の方が入居しております。日々自立される為の訓練や絵やパッチワークや木工作業などを行っています。私たちは、パークゴルフやボーリング・カラオケなどで交流を深めています。今回は創立35周年記念事業として敷地内にある庭の一角にガーデニングを行いました。創立30周年の記念事業で寄贈した本棚の本の入れ替えは今でも定期的に行っています。

児童施設天使の園は北広島市にある施設で、入居している子供たちはとても元気がよく明るい子供たちです。天使の園とはイベントのお手伝いなどで年2回交流を行っています。私たち札幌南ローターアクトクラブは、昨年度より札幌市唯一のクラブとなってしまいました。昨年度の始めから札幌北ローターアクトクラブに在籍していた会員を提唱クラブの札幌南RCのご理解、ご協力で全会員を受け入れることが出来ました。これを期に会員30名を目指して昨年度より、札幌南ローターアクトクラブを札幌市内外の方にも知って頂けるように精力的に活動を行っています。会員増強を行うためにポラナビに会員募集の広告を載せるなど行っています。

私たちが40年・50年と存続する為には、札幌南ローターアクトクラブの知名度を上げるとともに会員の増強を行っていき今まで先輩方が行ってきた事業の継続発展を行っていきたいと思います。

最後になりましたが、札幌南RCをはじめ区内のロータリアンの皆様ローターアクター・OB、OGの皆様方のご理解、ご協力をお願いするとともにご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。



ガバナー公式訪問

9月

9月1日(火)

7G 千歳セントラルロータリークラブ

午前10時、渡邊恭久ガバナーと加藤寛治ガバナー補佐をお迎えし、高塚会長、坂井会長エレクト、大野幹事の5名で、懇談会が行われました。インターアクトクラブ、ロータリーアクトクラブ、国際青少年交換事業などの青少年育成に関する話題を中心に質問し、簡潔丁寧にご説明戴きました。また渡邊ガバナーから、千歳セントラルロータリークラブが当地区で先駆的に取り組み、導入しているCLPについて、その経過と状況のご質問を戴き、地区内の導入活性化に向け積極的な役割を務めるようご提案を戴きました。引き続き午前11時からは、各理事が出席し理事会を開催し、各事業計画についての的確なアドバイスを戴きました。

例会では、渡邊ガバナーが掲げる基本方針「環境・人・子どもに目を向けよう」の説明、「そらぶちキッズキャンプ」の概要などの講話を戴き、全員一同、興味深く拝聴させて戴きました。大変有意義な公式訪問が終了致しました。



スローガン	チャレンジ精神で地域づくりに貢献
創立年月日	1990年11月19日
RI認証年月日	1990年12月12日
スポンサークラブ	千歳ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分(第3週は18時30分)
例会会場	ホテル日航千歳

9月2日(水)

3G 栗沢ロータリークラブ

9月2日(水)、渡邊ガバナー、嵯峨ガバナー補佐が当クラブをご訪問下さいました。9時30分より、会長・幹事との懇談、そして10時より栗沢クラブ川幡会長ほか各委員長一同列席し、当クラブの事業計画、活動の様子を一通り確認下さいました。

その後、会員全員の例会に参加くださいまして、「そらぶちキッズキャンプ」への支援に対する熱い思いをお聞かせいただきました。

とても気さくなお人柄で、終始和やかな雰囲気でお迎えすることができました。



創立年月日	1964年 6月 3日
RI認証年月日	1964年 6月10日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時10分
例会会場	いわみざわ商工会館二階

9月7日(月)

6G 蘭越ロータリークラブ

時々冷たい秋雨の降る、当町八幡神社秋祭りのこの日、午前10時から2510地区渡邊恭久ガバナーと見延庄三郎ガバナー補佐をお迎えし、志比川会長・高橋会長エレクト・白石幹事の5名で会長・幹事会を開催した。

志比川会長は地区世界社会奉仕委員会副委員長を務めており、WCS事業についての話題を中心にクラブの内容などを親しくお話しさせていただきました。

ガバナーからは、特に少人数のクラブですが、ポールハリスフェローの多いことに触れ奉仕の念厚いクラブとお褒めをいただきました。

11時からクラブ協議会を開催し、見延ガバナー補佐の司会進行で進められ、各委員会より2009~2010年度の計画について説明された。ガバナーからは各委員会の計画についての的確にアドバイスを頂き、当クラブが抱える課題についてご助言をいただきました。例会では、今年度ガバナーが基本方針として掲げられた「環境・人・子供に目を向けよう」を説明され、特に「そらぶちキッズ・キャンプ」についてのお話しを詳しくお聞かせいただきました。会員から「そらぶちキッズ・キャンプ」についての質問もあり、会員一同協力・支援することを確認いたしました。





創立年月日	1968年 4月22日
RI認証年月日	1968年 6月 3日
スポンサークラブ	俱知安ロータリークラブ
例会曜日	月曜日
開始時間	12時15分
例会場	ふれあいプラザ21

9月8日(火)**6G 小樽ロータリークラブ**

9月8日に渡邊恭久ガバナーと見延庄三郎ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。会長・幹事会では、当クラブの現状説明のほか、ロータリークラブの歴史・伝統といったものの継承のあり方などについても話し合われました。

クラブ協議会では、各委員長より今年度の方針や現在までの取組状況についての説明を行い、ガバナーからひとつひとつ示唆に富んだ講評を頂きました。また、数日前に静内で開催された試合が偶々「小樽・小樽南クラブ」対「岩見沢クラブ」の試合であったことから話が大変盛り上がりしました。

例会では、特にガバナーの「そらぶちキッズキャンプ」への熱い思いが会員全員に伝わり、これからの取組みに一層の気合いが入った中で、公式訪問は終了いたしました。



スローガン	例会を心のオアシスに！
創立年月日	1933年12月12日
RI認証年月日	1934年 2月26日
スポンサークラブ	札幌ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	グランドパーク小樽

9月9日(水)**6G 俱知安ロータリークラブ**

前日の夕方より、渡邊恭久ガバナーと見延ガバナー補佐、広瀬ガバナー補佐事務局長が来訪され、当クラブのチャーターメンバー中井会員他7名の会員とRCについての思い出、熱い思いを語り合った楽しい一時を過ごさせて頂きました。

公式訪問当日は、余計な緊張感がなく会長・幹事会、クラブ協議会を行うことができました。

例会では、「そらぶちキッズキャンプ」支援について小児ガンの子供達の心の中の奥深い喜びの笑顔に涙する感動と、これから立ち上がっていくキャンプにロータリアンとしての強制ではない心からの支援を送りたいとガバナーが

ら熱いメッセージがありました。当クラブ全員ガバナーの思いに答える様気持ちをつにしました例会でした。



スローガン	ロータリアンである喜びを感じよう!!
創立年月日	1964年12月 3日
RI認証年月日	1965年 1月 9日
スポンサークラブ	岩内ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時15分
例会場	ホテル 第一会館

9月9日(水)**6G 余市ロータリークラブ**

ガバナー公式訪問は、渡邊恭久ガバナー、見延庄三郎ガバナー補佐、広瀬事務局長をお迎えして、9月9日、午後4時30分より、会長・幹事会を開催致しました。

ガバナーより、クラブ会員の年齢別の実態、CLPの取り組み、交換留学生、IT委員会ホームページ、会津若松城南RCとの姉妹クラブのいきさつ等、実のあるお話を伺いました。

クラブ協議会に会場を移し、当クラブ各委員長より、今年度の活動計画及び目標の報告と、活発な意見交換を致しました。

特に、地区に当クラブより2名出向して活動していることに、ガバナーは感謝しておりました。

その後の夜間例会では、渡邊ガバナーより本年度の地区の方針と地区目標について説明があり、会員一同、その趣旨に賛同し、盛会のうちに公式訪問は終了しました。



スローガン	楽しもう、ロータリーライフ
創立年月日	1961年 4月29日
RI認証年月日	1961年 5月18日
スポンサークラブ	小樽ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会場	北海信用金庫 本店

9月10日(木)

6G 岩内ロータリークラブ

9月10日(木)渡邊ガバナー、見延ガバナー補佐、広瀬ガバナー補佐事務局長を迎えての公式訪問が行われました。

午前10時より会長・幹事が開かれ当クラブから会長、幹事(会長エレクト)の2名とともにクラブの現状について掘り下げた意見交換を行うことができました。続いて11時より見延ガバナー補佐の進行のもとクラブ協議会を開催。

その中で今年度のクラブ目標を紹介し、ガバナーの助言を頂くとともに当クラブからもいくつかの要請もありました。

12時30分からの例会では当クラブが出席100%でガバナーの公式訪問をお迎えすることができ、渡邊ガバナーに対し最大級の感謝を表すことができました。また渡邊ガバナーの「そらぶちキッズキャンプ」の支援に対して、さっそく当クラブの井戸会長から禁煙宣言とともにタバコ代を支援に使いたいとの発表があり、おおいに機運の高まりを感じることができました。



スローガン	クラブに新しい活力を!
創立年月日	1962年 4月10日
RI認証年月日	1962年 4月24日
スポンサークラブ	小樽ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	日本海

9月11日(金)

4G 札幌あけぼのロータリークラブ

渡邊ガバナーの公式訪問は、9月11日でした。午前10時には、荒ガバナー補佐と共に、例会場の「白い恋人パーク」にお越し頂き、会長・幹事・会長エレクトとの協議に於いて、実情報告を申し上げ、ご意見、ご指導を頂きました。14名の小規模クラブの悩みを率直に申し上げて、同様の悩みを抱えている他クラブを例示されて、決して大きい、小さいが問題でない旨を、諭されました。その後クラブアッセンブリー、例会に参加頂き、ロータリアンとして今に至る経緯をお話されました。空知地区で初めてガバナーを輩出したご苦労話、そらぶちキッズキャンプ場における、小児がん、難病の子供達が自然の中で、病める心と肉体を、仲間と共に癒される姿を見て、ロータリーは永く関っていくべきと説かれておりました。「そらぶちキッズキャンプ」は行政、あるいは医療の管轄と考えていたのが、まったく違って、民間の善意で運営されていて、誰もが参加できる、自分自身の心で考えるテーマであると、認識致しました。前日は岩内を公式訪問され、当日はその後、旭川に走り、2500地

区大会に出席と、大変お忙しい中8時間余り当クラブに費やして頂き、温厚なお人柄でご丁寧なご指導を賜り、会員一同深く感謝申し上げます。



スローガン	魅力ある例会を
創立年月日	1991年 3月15日
RI認証年月日	1991年 4月 8日
スポンサークラブ	札幌手稲ロータリークラブ
例会曜日	金曜日
開始時間	12時30分(第1週は18時30分)
例会場	石屋製菓 白い恋人パーク内 会議室

9月15日(火)

5G 札幌清田ロータリークラブ

滝川市のシンボルの花、コスモスと共に、渡邊恭久ガバナー、福井義昭地区幹事をお迎えし、当クラブの江口洗ガバナー補佐のリードのもとに公式訪問が行なわれました。渡邊ガバナーの公人としてのロータリー活動への熱い思いのメッセージをいただき、和やかな会長・幹事懇談会からクラブ協議会では、緊張の中にも四大奉仕委員長より活動報告があり、更に各委員会から細部の取り組みについて発表しました。出席者全員参画の中で当クラブの現状を見ていただきました。質問に簡潔丁寧なご説明と講評をいただき例会へと移りました。渡邊ガバナーの掲げる地区目標の説明と共に「そらぶちキッズキャンプ」のお話を、会員一同胸に迫るものを感じながら拝聴しました。沢山のアドバイス、励ましのお言葉をいただき感動の中に無事公式訪問を終了しました。



スローガン	明朗・愛和
創立年月日	1997年10月14日
RI認証年月日	1997年10月22日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	ルネッサンスサッポロホテル



9月15日(火)

5G 札幌セントラルロータリークラブ

渡邊恭久ガバナー、江口洸ガバナー補佐をお迎えして17時より会長・幹事会、18時よりクラブ協議会、例会の順で公式訪問が行われました。上野会長より今年度の活動計画の紹介後各会員の自己紹介及び奉仕分野の紹介がありました。当クラブで翻訳中の「The Golden Wheel」に関しガバナーより助言を頂きました。すっかり打解けた雰囲気の中でガバナーより「そらぶちキッズキャンプ」創設発起人の方がいることから、すでに募金で支援する計画で8月より毎週会員のポケットマネーを募金し意識的に参加する形で取り組んでおります。そのお話をガバナーが聴かれ大変喜んでおられました。当日は2度目の訪問でしたがお疲れの様子も見せず例会は和やかな雰囲気ですべて終了しました。



スローガン	充実した楽しい例会を
創立年月日	2002年 4月25日
RI認証年月日	2002年 8月 7日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	18時30分
例会場	札幌プリンスホテル・パミール館

9月16日(水)

4G 札幌ロータリークラブ

ガバナー公式訪問にあたり、まず10時からの会長・幹事懇談会においては、当クラブの中田会長より主に会員増強についてご報告しました。次いで11時からのクラブ協議会では四大奉仕委員会の各委員長より本年度の事業内容をご説明申し上げ、渡邊ガバナーより一つひとつ丁寧な講評を頂戴致しました。

例会においては、まず他クラブの活動状況をいくつかご紹介いただいた後、本年度ガバナーが掲げる4項目の重点目標のご説明がありました。特に「そらぶちキッズキャンプ」の支援については、その経緯及び意義を熱い言葉で語っていただき、メンバー全員にガバナーのこの事業にける情熱が十分に伝わったものと思います。これを受けて当クラブにおける具体的支援内容を今後詰めて参ります。



創立年月日	1932年12月 3日
RI認証年月日	1933年 1月18日
スポンサークラブ	東京ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会場	札幌グランドホテル

9月17日(木)

3G 江別ロータリークラブ

9月17日(木)渡邊恭久ガバナー、嵯峨ガバナー補佐をお迎えし、10:00会長・幹事会、11:00クラブ協議会、12:30よりガバナー公式訪問例会が開催されました。

ガバナーの温かな聞き取り姿勢とお話、嵯峨ガバナー補佐の的確な進行で我がロータリークラブの現状・2510地区の取り組みが確認されました。「そらぶちキッズキャンプ」に関しましても直接お話を伺い出来たことで、その現状・熱い思いを感じ取れました。また、私達が普段粛々としている普通の行為が、実はオリジナリティ溢れる取り組みであることもガバナーとの会話の中で確認できました。

今後さらに精進を重ねて参りたいと存じます。



創立年月日	1962年 2月 3日
RI認証年月日	1962年 2月19日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	江別市民会館



モントリオール国際大会のご案内 (第一報)

2010年6月20～23日

地区オン・ツー・モントリオール委員会

委員長 酒井正人
(函館五稜郭RC・PG)

2010年RI国際大会は2010年6月20日から23日にかけて、カナダのケベック州モントリオールで開催されます。当地区のオン・ツー・モントリオール委員会は国際大会参加のためA・Bの2コースを企画致しました。

Aコースはモントリオール滞在型で大会出席を主体としており、お忙しい会員向きでしょう。モントリオールは、人口200万を誇るカナダ第2の都市であり、見所が多いので滞在期間中は退屈することはないでしょう。

Bコースはバンクーバーからカルガリー、パンフをへてモントリオールへ入る旅程で世界遺産カナディアンロッキーを訪れます。ロッキー山脈のパノラマやクロウフット氷河や「カナディアンロッキーの宝石」にたとえられるレイクヒルズやベイトレイク等、大自然の魅力を存分に堪能できます。

また、A、Bコース共にモントリオールでは日本人親善朝食会と北海道ナイトを計画しておりますのでご家族お誘いあわせになり参加して世界中から集まるロータリーの友人と知り合い、新たな感動をみつけませんか。

尚、旅行費用等確定するには12月中旬を予定しておりますので第二報はガバナー月信1月号または2月号を予定しております。

〔申込締切〕

2010年1月22日(金)

* 当地区での参加者人数はホテルの確保並びに飛行機の座席の関係から、先着順で受け付け満員になり次第締め切らせて頂きます。

〔お問合せ・お申込先〕

株式会社 日本旅行北海道 札幌支店

札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階

電話：011-208-0170 FAX：011-208-0174

担当：斉藤・西村



(イメージ) 写真提供/ケベック州観光局

【国際大会登録に関して】

国際大会の第一次締切日は2009年12月15日です。事前登録の最終締切りは3月31日で、それ以降現地での登録となります。事前登録は登録書式を日本事務局奉仕室までクラブでお取り纏めの上お送り戴いてもかまいません。その際、登録料のお支払いはクレジットカードもしくは銀行振込みとなります。

銀行振込みの場合は、下記の口座にお振込みの上、登録書式をご送付下さい。

(国際ロータリー取り扱い分専用口座) 振込先：三井住友銀行 新宿通支店 普通預金 6733244
名義：国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

また、事前登録の締切日は、厳格に定められております。登録書式も締切日必着でございますし、登録料も上記口座に締切日までに着金していることが必要となります(翌日扱いは無効となります)。

※登録書式は全てアルファベットでご記入下さい。署名は日本語でも結構です。



Aコース行程表

国際大会参加とモンリオール6日間
〔旅行代金の確定は12月中旬を予定〕

日次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/18(金)	新千歳発	08:15	航空機	国内線にて成田へ	×	×	機
		成田着	09:55		出国審査後、空路シカゴ経由又北米内乗継			
		成田発	11:45	航空機	にてモンリオールへ(日付変更線通過)	機	×	×
		シカゴ着	09:15					
		シカゴ発	11:15	航空機		機	×	×
		モンリオール着	14:25		着後: 入国審査を済ませ、ホテルへ (モンリオール泊)	機	×	×
2	6/19(土)	モンリオール滞	終日		■終日自由行動 (モンリオール泊)	ホテル	×	×
3	6/20(日)	モンリオール滞	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(19:00~予定) (モンリオール泊)	ホテル	×	×
4	6/21(月)	モンリオール滞	終日		■終日自由行動 (モンリオール泊)	ホテル	×	×
5	6/22(火)	モンリオール発	09:59	航空機	出国手続きを済ませ、	ホテル	機	機
		ニューヨーク着	11:30		ニューヨーク又は北米内乗継にて帰国の途へ			
		ニューヨーク発	13:10	航空機		機	×	×
		成田着	16:10		入国手続き後、国内線にて新千歳へ	機	×	×
		成田発	18:40	航空機		機	×	×
		新千歳着	20:25		着後解散	機	×	×

※ご注意: 発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル: デルタセンタービル、ハイアット・モンリオール又は同等クラス。★最少催行人員: 6名。★添乗員: 現地係員がご案内いたします。

Bコース行程表

国際大会参加とバンクーバー・カナディアンロッキー周遊8日間コース
〔旅行代金の確定は12月中旬を予定〕

日次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行程	朝	昼	夕
1	6/15(火)	新千歳発	13:45	航空機	国内線にて成田へ	×	×	機
		成田着	15:25		出国審査後、空路バンクーバー経由へ			
		成田発	18:05	航空機	(日付変更線通過)	機	○	○
		バンクーバー着	10:45	専用バス	着後: バンクーバー市内観光とキャピラノ深谷観光 (バンクーバー泊)	機	○	○
2	6/16(水)	バンクーバー滞	終日	フェリー	〔終日〕ブッチャートガーデンとビクトリア市内観光。フェリーでビクトリアへ。四季折々の花々が美しいブッチャートガーデン・州会議事堂を観光 (バンクーバー泊)	ホテル	○	○
3	6/17(木)	バンクーバー発	午前	航空機	空路、カナディアンロッキーの玄関口、カルガリーへ	ホテル	○	○
		カルガリー着	午後	バス	着後: パンフへ ◆サルファー山の展望台からロッキーの山々のパノラマをお楽しみいただきます。			
		パンフ着	夕方		着後: ホテルへ (パンフ泊)	ホテル	○	○
4	6/18(金)	バンフ発	午前	専用バス	〔終日〕世界遺産カナディアンロッキー観光。	ホテル	○	○
		カナディアンロッキー着	午後		◆クローフト氷河の雄大な山々の景観や、「カナディアンロッキーの宝石」とたたえられるレイクルイズ、ペイトレイク等の魅力を存分にお楽しみください。コロンビア大氷原では、雪上車による観光をお楽しみください。			
		バンフ着	夕方		(バンフ泊)	ホテル	○	○
5	6/19(土)	バンフ発	午前	航空機	バスにてカルガリーへ	ホテル	○	○
		カルガリー着	午後		空路、モンリオールへ(カナダ国内乗継あり)			
		モンリオール着	夕方		着後: ホテルへ (モンリオール泊)	ホテル	○	○
6	6/20(日)	モンリオール滞	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(19:00~予定) (モンリオール泊)	ホテル	○	○
7	6/21(月)	モンリオール発	09:59	航空機	出国手続きを済ませ、	ホテル	機	機
		ニューヨーク着	11:30		ニューヨーク又は北米内乗継にて帰国の途へ			
		ニューヨーク発	13:10	航空機		機	×	×
		成田着	16:10		入国手続き後、国内線にて新千歳へ	機	×	×
		成田発	18:40	航空機		機	×	×
		新千歳着	20:25		着後解散	機	×	×

※ご注意: 発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル

*バンクーバー: ハイアットリージェンシー、シェラトン・ウォールセンター又は同等クラス。*パンフ: パンフ・パークロッジ、フォックスホテル又は同等クラス。

*モンリオール: デルタセンタービル、ハイアット・モンリオール又は同等クラス。

★最少催行人員: 15名。★添乗員: 全行程同行いたします。

例会日・例会時間・例会場の変更等について

江別RC	11月12日(木)、11月19日(木) 移動例会 12:30～ 場所: セレモニーホールはやし野幌(江別市野幌町54-5) 11月26日(木)の例会を11月28日(土)の第3グループIMに変更
岩見沢東RC	11月 3日(火) 休会
小樽RC	11月 3日(火) 休会
千歳RC	11月12日(木)の例会を11月 1日(日)分収造林作業に変更
千歳セントラルRC	11月 3日(火) 休会 11月10日(火) 夜間例会「創立19周年&通算900回記念例会」 場所: ホテル日航千歳 11月17日(火) 通常例会に変更
室蘭東RC	11月18日(水) 休会 11月25日(水)の例会を下記に変更 11月28日(土)～29日(日) 移動例会 場所: 登別万世閣
室蘭北RC	11月 3日(火) 休会
白老RC	11月 3日(火) 休会 11月10日(火)の例会を下記に変更 11月 6日(金) 移動例会「仙台西ロータリークラブ訪問」12:30～ 場所: 仙台エクセルホテル東急(仙台市青葉区一番町2-9-25)

「兵庫県西・北部豪雨災害」と「台湾台風災害」義援金報告 ～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

地区内各クラブに募金のお願いを致しました『兵庫県西・北部豪雨災害』と『台湾台風災害』に対する義援金について、既に他の団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の50クラブから総額1,726,081円を頂戴し10月7日に兵庫県西・北部豪雨災害義援金口座に873,541円、台湾台風災害義援金口座に852,540円をお振込み致しましたのでご報告致します。

深川RC、妹背牛RC、赤平RC、芦別RC、滝川RC、美唄RC、江別RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、当別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌モーニングRC、札幌西RC、札幌西北RC、札幌手稲RC、札幌東RC、札幌清田RC、札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌南RC、新札幌RC、倶知安RC、小樽南RC、小樽銭函RC、余市RC、千歳RC、千歳セントラルRC、恵庭RC、長沼RC、由仁RC、様似RC、静内RC、伊達RC、室蘭RC、室蘭北RC、函館RC、函館亀田RC、七飯RC、長万部RC、函館セントラルRC、江差RC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、白老RC、苫小牧RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC

新入会員の紹介 (敬称略)



たちばな あつり
橋 功記
(北広島RC)
入会/7月1日
職業分類/弁護士



なかむら きみひこ
中村 公彦
(余市RC)
入会/7月1日
職業分類/総合建設業



せと ゆきお
瀬戸 行雄
(室蘭北RC)
入会/8月18日
職業分類/セメント輸送



いとう みのも
伊藤 稔
(恵庭RC)
入会/9月2日
職業分類/生命保険代理店



ふじた よしひろ
佛田 好広
(岩見沢RC)
入会/9月3日
職業分類/一般土木建築工事



つるさわ きみはる
敦澤 君治
(恵庭RC)
入会/9月9日
職業分類/産業廃棄物処理業



ふくだ ゆうじ
福田 雄二
(苫小牧RC)
入会/9月18日
職業分類/一般建設工事



はやし ひでき
林 秀樹
(芦別RC)
入会/9月24日
職業分類/タクシー業



かみさんこうこうすけ
上参郷光祐
(小樽RC)
入会/10月6日
職業分類/灯油配布



あおき たけひさ
青木 威尚
(苫小牧RC)
入会/10月8日
職業分類/環境リサイクル



2012～2013年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 渡 邊 恭 久
地区ガバナー指名委員長 丸 山 淳 士

2012～2013年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考]国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定

インターアクトクラブ活動

★ブログ開設のお知らせと ブログ閲覧のお願い★

地区インターアクト委員会
委員長 若松 孝
Takashi Wakamatsu
(札幌モーニングRC)

このたびインターアクトクラブでは活動内容を少しでも知っていただこうと、ブログを開いたしました。パソコンもしくは携帯電話で閲覧いただけます。

* 閲覧の方法

1. パソコン、携帯電話で直接

URL:<http://ameblo.jp/2510interact/>を入力する。

2. パソコン又は携帯の検索サイトで「アメールブログ」を検索し、「アメールブログ」内で「ロータリー」または「インターアクトクラブ」で検索する。

文庫 通信

(265号)

ロータリー情報 — ガバナー月信他から

書 名	著者/地区	発行年	ページ	
◆「ロータリーの魅力について」	牧田静二(D.2620)	2009	2P	※
◆「大連RCの『ロータリー宣言』(大連宣言)について」	岩淵 均(D.2770)	2009	2P	※
◆「よねやま雑感」	板橋敏雄(D.2550)	2009	1P	※
◆「三井報恩会(初代理事長米山梅吉)の結核撲滅と救済援助」	長谷川了	2009	3P	※
◆「概説-我が国に於ける戦前のロータリー運動」	金子秀隆	2009	6P	※
◆「ロータリーを語る-ロータリー鼎談」	足立功一(D.2500IM報告書)	2009	4P	※
◆「ロータリアンが取り組んだ平和への道標」	坂本俊雄	2009	42P	※
◆「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝②」	戸田 孝(D.2660)	2009	228P	※

※ デジタル化した資料

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

2009年11月のロータリーレート 1ドル90円



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■メジャードナー

札幌真駒内RC 吉村 洋吉 会員 9月24日

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 荒木 英雄 会員(1回) 9月30日

倉増 秀昭 会員(4回) 9月30日

札幌南RC クリステンセントーキル 会員(3回) 9月18日

平 昌夫 会員(1回) 9月18日

田嶋 久嗣 会員(1回) 9月18日

苫小牧北RC 紺野 誠一 会員(6回) 9月30日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

札幌南RC 勿利地トキ 会員(10回) 9月16日

村山 圭一 会員(1回) 9月16日

佐藤源五郎 会員(5回) 9月16日

田嶋 久嗣 会員(1回) 9月16日

浦河RC 秋山 靖典 会員(1回) 9月17日

福士 幹紀 会員(1回) 9月17日

小関 孝雄 会員(1回) 9月17日

奥田 宗夫 会員(1回) 9月17日

武田 豊 会員(1回) 9月17日

種本 尚志 会員(1回) 9月17日

函館五稜郭RC 青田 基 会員(2回) 9月25日

濱中 公也 会員(2回) 9月25日

金道 雅樹 会員(2回) 9月25日

工藤 将幸 会員(1回) 9月25日

函館五稜郭RC 村田 信吾 会員(2回) 9月25日

中村 喜憲 会員(3回) 9月25日

中川 正光 会員(2回) 9月25日

上加 淳悦 会員(2回) 9月25日

千葉 光夫 会員(2回) 9月25日

函館北RC 小笠原 孝 会員(12回) 9月17日

苫小牧北RC 伊藤 長英 会員(34回) 9月28日

丸屋 憲一 会員(7回) 9月28日

谷岡 裕司 会員(5回) 9月28日

山本 秀子 会員(3回) 9月28日

■米山功労クラブ

札幌南RC 34回 9月16日

函館五稜郭RC 18回 9月25日

苫小牧北RC 16回 9月28日

ポール・ハリス・フェローメダル購入方法について

2009-10年度よりポール・ハリス・フェローのメダルが有料(\$15)になりました。ご購入される方は別途お申し込みが必要となりましたが、その購入方法についてお知らせします。

先月、「ポール・ハリス・フェローメダル注文書」にて注文するとご案内いたしましたが、今後は前払いにて資料室(Tel: 03-3903-3194, Fax: 03-3903-3781)よりお求め下さい。

ご注文の流れは下記の通りです。

1. 電話、FAX等、ご都合の良い方法でご注文下さい。
2. 在庫確認後、折り返し、請求額と振込口座をご連絡申し上げます。
3. 入金確認後、領収書を同封して、発送させていただきます。

国際ロータリー 日本事務局
財団室 長 淵 孝 久
Tel. 03-3903-3192 Fax.03-3903-3781



地区カレンダー(11月・12月)

11月 ローターリー財団月間		12月 家族月間	
1(日)		1(火)	
2(月)		2(水)	
3(火)	文化の日	3(木)	
4(水)		4(金)	
5(木)	公式訪問(札幌東RC)	5(土)	
6(金)		6(日)	
7(土)	2009年度米山学友会定時総会・懇親会(札幌)	7(月)	
8(日)		8(火)	
9(月)		9(水)	
10(火)	公式訪問(当別RC)	10(木)	
11(水)		11(金)	
12(木)	公式訪問(芦別RC、美唄RC)	12(土)	次期地区ガバナー補佐会議(札幌)
13(金)		13(日)	
14(土)		14(月)	登別RC創立40周年記念式典(登別)
15(日)		15(火)	
16(月)		16(水)	
17(火)	ロータリー財団地域セミナー(東京)	17(木)	
18(水)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会(東京)	18(金)	
		19(土)	
19(木)	ロータリー研究会(東京)	20(日)	
20(金)	ロータリー研究会(東京)	21(月)	
21(土)		22(火)	
22(日)	第8回北海道ローターアクト交流会(千歳)	23(水)	天皇誕生日
23(月)	第8回北海道ローターアクト交流会(千歳) 勤労感謝の日	24(木)	
		25(金)	
24(火)	公式訪問(赤平RC)	26(土)	
25(水)	公式訪問(砂川RC)	27(日)	
26(木)	公式訪問(滝川RC)	28(月)	
27(金)		29(火)	
28(土)	第3グループIM(岩見沢)	30(水)	
29(日)		31(木)	
30(月)			

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.09.30	増減	内女性	
1	深川	4	32	33	1	2	88.33
	羽幌	4	45	48	3	1	86.94
	妹背牛	4	9	9	0	0	80.55
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	43	2	1	87.07
	小計		138	144	6	4	84.94
2	赤平	4	29	32	3	1	81.00
	芦別	4	37	37	0	0	84.44
	砂川	4	55	55	0	0	96.77
	滝川	4	96	96	0	2	81.00
	小計		217	220	3	3	85.80
3	美唄	4	33	33	0	0	92.60
	江別	3	34	34	0	1	87.25
	江別西	4	30	30	0	3	75.00
	岩見沢	4	85	88	3	0	93.32
	岩見沢東	4	33	35	2	4	86.15
	栗沢	4	24	24	0	1	93.60
	栗山	4	27	28	1	2	97.04
	当別	4	31	31	0	0	80.85
小計		297	303	6	11	88.23	
4	札幌幌	4	102	119	17	0	96.53
	札幌あげぼの	4	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	4	19	19	0	4	89.47
	札幌北	3	43	42	-1	5	96.03
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	78.03
	札幌幌西	4	58	58	0	4	94.19
	札幌西北	4	40	40	0	5	98.70
	札幌手稲	3	33	35	2	2	90.28
小計		359	378	19	21	92.90	
5	札幌東	4	118	122	4	0	97.83
	札幌清田	4	18	18	0	4	93.33
	札幌幌南	3	61	64	3	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	31	0	3	99.17
	札幌南	3	80	82	2	0	98.78
	札幌大通公園	3	12	13	1	4	84.90
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	77.60
	新札幌	4	28	28	0	2	80.62
小計		358	368	10	19	91.53	
6	岩内	4	19	21	2	0	89.32
	倶知安	4	40	40	0	4	75.50
	小樽	4	65	68	3	0	90.73
	小樽南	4	76	76	0	1	88.39
	小樽銭函	4	22	23	1	2	72.00
	蘭越	3	9	9	0	0	85.18
	余市	4	41	41	0	4	86.00
	小計		272	278	6	11	83.87

9月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,782人(104人)
増加会員数	82人
当月平均出席率	85.57%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.09.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	77.20
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	77.50
	恵庭	4	35	40	5	1	84.77
	北広島	4	16	16	0	0	90.63
	長沼	3	20	20	0	3	81.60
	由仁	4	11	11	0	1	80.00
	小計		176	183	7	10	81.95
8	えりも	4	21	22	1	0	85.22
	三石	3	15	15	0	1	91.10
	様似	4	22	23	1	1	70.60
	静内	4	70	76	6	1	86.12
	浦河	4	36	36	0	2	92.36
	小計		164	172	8	5	85.08
9	伊達	4	55	55	0	0	80.00
	室蘭	4	41	44	3	0	100.00
	室蘭東	4	36	39	3	0	82.70
	室蘭北	5	35	37	2	3	100.00
	登別	5	31	31	0	1	80.65
	洞爺湖	4	7	7	0	0	100.00
	小計		205	213	8	4	90.56
10	函館	4	83	85	2	0	75.87
	函館亀田	3	42	39	-3	2	93.01
	森	4	34	39	5	0	71.78
	七飯	4	17	17	0	0	70.50
	長万部	4	9	9	0	0	69.35
	函館セントラル	4	31	31	0	1	60.48
小計		216	220	4	3	73.50	
11	江差	4	18	18	0	2	66.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	98.57
	函館東	4	43	44	1	4	85.63
	函館北	4	28	28	0	0	92.06
	北斗	4	17	17	0	1	64.70
	松前	2	5	6	1	0	50.00
小計		166	168	2	7	76.16	
12	白老	4	28	28	0	0	82.00
	苫小牧	4	48	50	2	2	82.29
	苫小牧東	4	27	27	0	2	87.50
	苫小牧北	4	29	30	1	2	100.00
	小計		132	135	3	6	87.95
合計		2,700	2,782	82	104	85.57	



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>